いのち、くらし、平和が大事！

日本共産党京都市議会議員

山本陽子 活動ニュース

春よこい！
政治にも
雇用のヨーコ！
子育てのヨーコ！
困ったときのヨーコ！

VOL.10　2016年3月20日号

連絡先　日本共産党山科区生活相談所　山科区西野大手先町8－8　☎595-8342

バイバイ原発3.12きょうと集会

福島の事故から５年目を迎え、今もなお終息することのない原発を、ゼロに！　再稼動ストップ！の願いを結集した集会となりました。私も、おなじく５歳を迎えた息子と一緒に、円山公園で行われたバイバイ原発集会に参加しました。

宇宙飛行士の秋山豊寛さんが、人の命や生活をなんとも思っていない安倍政権の原発再稼動について、力強い抗議の思いを発言されました。しかし倉林明子参議院議員の秘書の方にお聞きすれば、国会の経済産業委員会で、倉林さんはたった一人、孤軍奮闘で原発ゼロを訴えておられるんだとか！　大河原としたか参議院議員予定候補も壇上で発言されましたが、原発ゼロのみんなの願い託せるのはやっぱり彼しかいません！！

関西学院大学教授の朴勝俊さんは、始まろうとしている電力自由化で、原発電源のエネルギーを廃止に追い込もう！　と呼びかけられました。

リクオ＆中川敬（ソールフラワーユニオン）の弾き語りライブも、風刺が効いてとても良かった！　音楽はパワー！

過酷な事故を想定した再稼動なんてありえない！と、2100人の心がひとつになりました！

3・13重税反対！全国統一行動山科地域集会

青空の下、東野公園で行われた重税反対決起集会に参加しました。この日は全国各地で労働者、中小業者、農民、年金者、女性、青年などの各階層がこの行動に参加しました。

集会では、「もし来年から消費税が10%になったら、もう廃業するしかない」という業者さんから悲痛な声があがりました。また軽減税率の導入と共に、導入しようとしているインボイス（適格請求書）の問題も示されました。軽減税率が適用されるのは課税業者でなければならず、500万か所の零細中小業者＝免税業者が取引から排除されることにつながります。こんなことまでして中小零細業者を追い詰めていく政治。本当に「亡国」だと思います。

夏の参議院選挙では、地域の経済を担う99%の声で消費税10%増税はなんとしてもストップさせましょう！！

〝ご近所さんお誘いのつどいⅡ〟

地域の方を気軽に誘い、介護の問題、子育ての要求、政治への思いを皆さんとおしゃべりする二回目の企画を実施することができました（2/28・鏡山）。女性の方にも気軽に参加していただきたくて「レディスデイ」としてお誘いしました。女性６人と、参加希望された男性３人も加わり、最後はおぜんざいも準備していただき、ほっこり企画となりました。

幼稚園に２人の息子を通わせるお母さんは、「子育てにはお金がかかる。幼稚園の費用に２人で６万円、他に習い事などの費用を加えると毎月10万円近くになる。せめて、子どもの医療費は無料にしてほしい！」と子育ての実態を訴えられました。介護事業所のサービス提供者の方は、「介護の仕事に就くには『初任者研修』を受けることが必須ですが、その６万円の費用がなかなか出せない。研修費用を無料にすれば若い方たちも介護の仕事を選んでくれるのではないか」と話されました。他にも、高齢の両親の介護に苦労をされているのに、事業所にサービスを廃止されて困った、というお話もありました。

「市民の要求にそった政治になっていかないのは何故か？」と興味をもって語られる女性の方もおられて、他にも盛りだくさんのつどいとなりました。

つどい会場の家主の方が常日頃のご近所づきあいをこのようなつどいに結びつけていただきました。切実な暮らしの事情や、願いを力にして、市政で訴えていきたいと思います。これからもいろいろな場所で、ざっくばらんな交流をしていきたいと思います。

ヨーコのまちかど＆訪問日記

戦争法廃止！　安部政権打倒！　そのために全力を尽くす。５野党の共闘は市民の皆さんの願いです！

今、戦争法廃止の二〇〇〇万署名に大きく取り組んでいますが、街頭だけでなく、お家に訪問してお願いする署名活動もとても重要。街頭署名はちょっと…という方も、お宅を訪問すると気軽に応じていただけることがあります。

先日は、マッチョで刺青のあるお父さんが、署名に応じてくださいました。４歳になるかわいい娘さんが周りをちょろちょろ、二人目の赤ちゃんもおられる様子。「子どもたちの未来に戦争が起こるのはアカンよね」と、お話しました。

また、今年から大学に進学するという好青年が、インターホン越しに話を聞き、玄関まで出て署名に応じてくれました。「戦争法には関心がある。学生のシールズの活動も知っている」ということ。夏の参議院選挙で初の18歳選挙権を行使する若者です。大河原としたか支持のアピールに好感触！

５か月の赤ちゃんを抱くお母さんが出てきてくれたり、大学生の娘を持つお母さんが、娘の分も書いていい？　と、言われたり…。

訪問だからこそ、お父さん、お母さん、若者、一人ひとりの、戦争法廃止の願いと結びつくことができる。そんな行動に私自身も力をもらっています。